

令和5年度 第2回佐賀県立鹿島高等学校学校運営協議会 議事録

日 時：令和5年10月13日(金) 14:30～16:30

場 所：鹿島高等学校 大手門学舎 LL 教室

参加者：19名【委員(10名)】【事務局(4名)】【校内委員(3名)】【教育振興課(1名)】
【高校魅力化アドバイザー(1名)】

配布資料

① 第2回佐賀県立鹿島高等学校学校運営協議会 会議資料

- ・学校運営協議会委員・校内委員名票
- ・グランドデザインについて
- ・キャリア教育部会より
 - 旭ヶ岡キャリア塾 stage2 について
 - 旭ヶ岡キャリア Labo について
- ・魅力化評価部会より
 - 学校評価(中間報告)
 - 魅力化評価システム7月実施分結果について
- ・地域連携部会より
 - 令和5年度上半期活動実績及び下半期活動計画について
 - 地域連携部会 報告書

② 「旭ヶ岡キャリア塾未来を語る会」案内チラシ

③ 「第7回 佐賀県コミュニティ・スクール研究大会」案内チラシ

④ 「地域×教育で、唯一無二の学びを考えよう」案内チラシ

⑤ 「魅力強化委員の皆さんと代表生徒の皆さんによるグループワーク」資料

<会順>

開会

I 学校長挨拶

- ・委員の皆様への謝辞
- ・学校の状況報告(学校魅力化強化のために行っていることについて)

II 会長挨拶

(省略)

III 議事

1 グランドデザインについて

- ・目的や意義、効果等について説明。
- ・アドミッションポリシー(求める生徒像) 簡潔な言葉で作成
- カリキュラムポリシー(育てる課程) 普通科のコース制について
- 従来の流れを汲む「文理探求進学コース」、本校独自の教科を持つ「未来探求進学コース」における学校設定教科「未来探求」で育む「MIRAIの力」について

グラデーションポリシー（目指す生徒像） 他者を尊重し、誠実で豊かな心と大きな志を持って逞しく未来を切り開く生徒を育てる。

2 キャリア教育部会より

旭ヶ岡キャリア塾 stage2 について

- ・ 11月6日（月）に開催予定

旭ヶ岡キャリア Labo について

- ・ 概要等説明（空き教室を活用し、社会人と生徒の交流の場を創出）

3 魅力化評価部会より

学校評価（中間報告）

- ・ B評価は、概ね達成できる見込みを意味する
- ・ 数値については、7月に取ったアンケートを基にしている
- ・ C評価のヘルメット着用率は、自主的な取り組みでの着用を挙げていてハードルが高い
- ・ 中間評価をベースに12月に再度アンケートをとり、今年度末に向けてまとめる

魅力化評価システム7月実施分結果について

- ・ R4年7月からR5年2月、R5年7月と3回行っている
- ・ 70～80項目の中の5つをピックアップして載せている
- ・ 在校生がしっかりとした目的をもって学校生活を送れるようバックアップする
- ・ 旭ヶ岡キャリア塾をきっかけに④が増えている。現3年生はその後減少しているが、シンポジウムに加え、キャリア別トークセッションを行った2年生は増えたまま維持している。

→今年度のキャリア塾 stage2 では2年生（次年度3年生）もトーク別セッションに参加する

4 地域連携部会より

令和5年度上半期活動実績及び下半期活動計画について

- ・ 4月当初より大きな変更はない

地域連携部会 報告書

- ・ 地域への誇りと愛着を持ち始めている
- ・ 学校の雰囲気も良くなっている
- ・ 活動の整理を行った①高校生ティーチャー ②高校生サポーター ③高校生クリエイター

5 その他

- ・ 「旭ヶ岡キャリア塾未来を語る会」案内
- ・ 県からのチラシ紹介「地域×教育で、唯一無二の学びを考えよう」「地域×教育で、唯一無二の学びを考えよう」

<質疑・応答>

委員：ヘルメット着用について、なぜ着用しないのか？

副校長：アンケートによると、「かっこ悪い」「髪が乱れる」などがある。

また、JR通学の生徒は駅で自転車に乗り換えるが、ヘルメットを置いたままにする
と盗難の恐れがあるという意見もある。

委員：愛媛県では中高生のヘルメット着用率がほぼ100%。雰囲気作りが大切。

学校にドライヤーを置く、空き教室を利用してパウダールームにする（ヘルメット置き場にもなる）などの工夫を。

委員：通学バック（リュック）にヘルメットを下げるようにするのもある。

校長：部活動単位で競わせることも試したが、あまり効果がなかった。

委員：宿題サポーターでお世話になった。暑い時期だったが、午前中に実施するなど配慮してもらった。次年度以降もぜひお願いしたい。

委員：小学校しかだめなのか？中学校は？

校長：小学生の時に鹿島高校への憧れを植え付ける。中学生では遅い。現在小学生にアプローチ中。まだ2年目なので、今後考えていく。

委員：スポーツでの交流は？

校内委員：野球、ソフトボール、バレーボール、レスリングで行っている。

委員：縦割りで、小・中・高連携でやってもおもしろいのでは？

会長：他に、増やすことは可能か？

校内委員：現在、依頼があった分は全て対応している。今後増えてきた場合どうするかが問題。

校長：無理して集めない。来てくれる子供を大切に。

委員：参加する高校生は、決まった子？偏っている？

校内委員：部活動が休みの日や、試験が終わったタイミングなどで、その都度入れ替わりがある。もちろん、毎回参加している子もいる。ボランティア証明書が発行され、進路にも有利になる。

委員：鹿島市社協さんとのボランティアの連携などを今後検討してみてはどうか。

校内委員：ご意見をいただきありがたい。検討を行う。

IV ワークショップ

生徒参加・旭ヶ岡キャリア塾 stage2 シンポジウムに向けてのグループワーク

[ファシリテーター：高校魅力化アドバイザー]

閉会